

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 2 - 7

小事業	教育相談 (該当当該事業名：青少年指導経費・不登校児童生徒サポート事業)			課名	教育支援・相談課 (令和5年4月1日現在)			
説明文				数値目標				
<p>【事業のゴール】 令和3年度は、摂食障害や虐待等、重篤なケースの対応があったが、カウンセリングや相談を通して対象児童生徒・家庭とつながりを作り、継続対応を行うことができた。また、対象児童生徒の状態像に合った対応として、医療機関等の関係機関を紹介し、適切な支援につなぐことができた。各ケースの対応については、学校との情報共有を密に取ることで連携をスムーズに進めることができた。今後も各校のスクールカウンセラー、教育相談コーディネーター、関係機関、及び保護者と、教育センターの教育相談担当者が連携しながら、心理的支援を必要とする児童生徒の状態像を把握し、計画された枠組みの中でもれ落ちなく相談対応を行えるようにする。</p>				<p>【事業のゴールの数値目標】 心理・適応に関する教育相談の稼働率 100%</p> <p>【設定理由】 現状の配置数のカウンセラー・相談員では教育相談に対応できる件数に限りがあるため、教育相談の実施件数をそのまま指標とするのではなく、決められた枠組みの中でどれだけ相談支援を達成することができたかを指標として設定する。</p>				
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 重篤な内容の相談ケースの増加により、1回の相談対応では終結することができず、継続対応が必要なケースが増えており、相談担当の負担が大きくなっている。人的整備を含め、相談体制の整備・拡充が必要である。</p>				<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 心理・適応に関する教育相談の稼働率 100%の維持</p> <p>【設定理由】 児童生徒への心理的支援が十分行き渡ることを念頭に置き、計画された枠組みの中でもれ落ちなく相談対応を行えるようにすることを目標として、相談体制の整備・拡充を進める。</p>				
予算	予算額(円)	令和3年度 28,361,000	令和4年度 8,284,000	令和5年度 21,185,000	令和6年度 6,307,000	令和7年度 21,205,000	令和8年度 10,657,000	備考
	決算額(円)	27,395,000	7,932,000	20,876,428	6,291,649			
ゴールの数値目標	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	実績値	99.7%	98.8%					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 2 - 8

小事業	スクールカウンセリング (該当当該事業名：青少年指導経費)			課名	教育支援・相談課 (令和5年4月1日現在)			
説明文				数値目標				
<p>【事業のゴール】 各校における心理的支援が必要なケースが増加しており、令和3年度は特に自傷行為・希死念慮等のケースや緊急に対応するケースが多かった。こういったケースに適切に相談対応できるよう、平成28年度にスクールカウンセラーを市内全校配置し、平成29年度は待遇改善を行ったことにより、経験豊富なカウンセラーが継続して勤務する傾向がみられ、安定した運用や有効な活用に繋がっている。各校へのスクールカウンセラーの配当時数に対し、全校ともにほぼ100%の活用がなされており、今後も計画された枠組みの中で、スクールカウンセラーの適切な運用を図る。</p>				<p>【事業のゴールの数値目標】 スクールカウンセラーの稼働率 100%</p> <p>【設定理由】 現状の配置数でスクールカウンセラーが対応できる相談件数の枠組みには限りがあるため、相談支援の実施件数をそのまま指標とするのではなく、決められた枠組みの中でどれだけ相談支援を達成することができたかを指標として設定する。</p>				
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 スクールカウンセラーによる相談を通じた心理的支援は対応可能な上限まで達しているため、今後拡充が必要である。より多くのケースに適切に対応できるよう、人的整備を含め相談体制のさらなる充実を進めつつ、スクールカウンセラーの相談対応がより適切に行えるようにする。</p>				<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 スクールカウンセラーの稼働率 100%の維持</p> <p>【設定理由】 スクールカウンセラーによる相談が各校で適切に行われ、児童生徒への心理的支援が十分行き渡ることを念頭に置き、計画された枠組みの中でもれ落ちなく相談対応を行えるようにすることを目標として、相談体制の整備・拡充を進める。</p>				
予算	予算額(円)	令和3年度 28,361,000	令和4年度 21,185,000	令和5年度 21,205,000	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額(円)	27,395,000	20,876,428					
ゴールの数値目標	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	実績値	95.0%	98.5%					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 2 - 9

小事業	いじめ問題相談経費		課名	いじめ防止生徒指導課 (令和5年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p>【事業のゴール】 いじめ等に悩んでいる児童生徒や保護者が、いつでも相談できるように相談先の周知を強化し、相談先が分からずにSOSを出すことができずにいじめ等に悩むことがないようにする。</p>			<p>【事業のゴールの数値目標】 相談件数：250件</p> <p>【設定理由】 令和3年度の実績をもとに設定する。</p>					
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 学期始めや長期休業前に、相談業務の啓発と窓口の周知を行う。</p>			<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 学期始めや長期休業前に、相談窓口の周知を行う。</p> <p>【設定理由】 児童生徒や保護者が相談したい時に相談できるように、複数回周知を行うことでいざというときに相談先に迷うことのないようにするため。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	10,351,000	10,113,000	10,157,000				
ゴールの数値目標	目標値	—	250	250	250	250	250	
	実績値	251	303					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 2 - 10

小事業	特別支援教育にかかわる教育相談 (該当当課事業名：特別支援教育推進経費)		課名	教育支援・相談課 (令和5年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p>【事業のゴール】 就学相談をはじめとする教育相談体制の整備を進め、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が適切な支援につながるようにする。各小中学校の通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒が年々増加していることから、適切な就学相談のもと、必要な支援につながるようにするために、多様な学びの場の一つである通級指導教室の全校設置を進める。</p>			<p>【事業のゴールの数値目標】 令和8年度末までに市内小中学校、全64校に通級指導教室の設置を目指す。</p> <p>【設定理由】 特別な支援を必要とする児童生徒への対応として、国は令和8年度末までに通級指導教室を小中学校に全校設置するとしている。奈良市としても適切な就学相談のもと、必要な支援につながれることを目指しているため、国の方針に則り通級指導教室の全校設置に向けた取組を推進する。</p>					
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 特別支援教育に関する専門的知識やスキルをもち、教育相談・就学相談を適切に進められる人材、通級指導教室を担当できる人材の育成が急がれる。このため、当課で「インクルーシブ教育システム推進講座」を計画し、特別支援教育に関する研修講座を年間5～8講座程度実施する。</p>			<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 「インクルーシブ教育システム推進講座」の受講者数の目標を毎年100名とする。</p> <p>【設定理由】 特別支援教育に関する専門的知識やスキルをもち、教育相談・就学相談を適切に進められる人材、通級指導教室を担当できる人材が、現在まだまだ少ない状態である。市内各校の特別支援教育に関する教育相談体制を整備するため、研修講座を通じた人材育成を推進する。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	10,658,000	24,772,000	20,388,000				
ゴールの数値目標	目標値	12	16	22	32	46	64	
	実績値	12	16					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 2 - 11

小事業	地域子育て支援拠点事業経費（子育て支援アドバイザー事業）			課名	子ども育成課（令和5年4月1日現在）			
説明文				数値目標				
<p>【事業のゴール】 子育て支援アドバイザーとして登録した地域の子育て経験豊かな市民を、乳幼児と保護者が集まる場所に派遣し、保護者の子育てに関する疑問や悩みに対する相談の他、手遊び・読み聞かせなどの講習や子育て広場での見守り支援等、幅広く子育ての支援を行う。</p>				<p>【事業のゴールの数値目標】 子育て支援アドバイザーの派遣回数：500回</p> <p>【設定理由】 子育て支援アドバイザーの登録者数は、令和3年度末時点で132人であり、当該登録者数の活動の場の確保、また、地域子育て支援拠点事業を始めとした子育て支援事業での地域連携の意味においても、過去の実績より相応な数値であるため。</p>				
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 制度の周知及び利用の促進</p>				<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 地域子育て支援拠点、子育てスポット、子育てサークルに対する制度利用の案内及び促進 1回/年 以上</p> <p>【設定理由】 制度について、利用実績のない地域子育て支援拠点等もあるため、具体的に登録者が行うことのできる講習や制度の内容を改めて周知し、利用を促すことで、登録者の活動の場を確保し、派遣回数を増やすため。</p>				
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	1,000,000	1,000,000	1,000,000				
ゴールの数値目標	目標値	500	500	500	500	500	500	
	実績値	227	385					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 2 - 14 関連 No 4 - 2 - 6

小事業	思春期相談			課名	母子保健課（令和5年4月1日現在）			
説明文				数値目標				
<p>【事業のゴール】 学童期・思春期の子どもが成人期に向けて正しい保健行動を知り選択できる。</p>				<p>【事業のゴールの数値目標】 16歳未満の望まない妊娠届出数を減らす</p> <p>【設定理由】 望まない妊娠がその後の生き方に影響を与えるため。</p>				
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 庁内関係課との連携強化</p>				<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 庁内関係課との会議の実施 1回/年（望まない妊娠や学童期・思春期の問題について）</p> <p>【設定理由】 16歳未満の妊娠届出数を減らすためには、当事者との関わりのある関係課との連携を強化するための会議を行い、課題について共有、対応策について協議を行うことが必要である。</p>				
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	15,000	16,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	0	0	0	0	0	
	実績値	2	0					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 2 - 15

小事業	母子・父子自立支援員による相談		課名	子ども育成課、人事課			(令和5年4月1日現在)	
説明文			数値目標					
<p>【事業のゴール】 様々な社会的要因などにより、ひとり親家庭が増加傾向にあり、今後の相談も多岐にわたると考えられる。より多くのひとり親家庭等に、支援制度の情報などを提供するとともに、自立支援プログラムの策定など、関係機関との連携を行い、自立への支援を行っていく。</p>			<p>【事業のゴールの数値目標】 相談件数：1,650件</p> <p>【設定理由】 第二期子ども・子育て支援事業計画では令和6年度時点の目標値を1,900件としているが、新型コロナウイルス感染症の影響が長引いているため、令和3年度の実績をもとに設定する。</p>					
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 相談窓口の周知</p>			<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 チラシの配布回数：2回/年</p> <p>【設定理由】 相談件数を増加させるためには相談窓口があるという情報を周知する必要がある。市民に認識してもらうためには、市民が必要とする時期や状況に合わせての周知が必要となるため、年1回行っているチラシの配布回数を年2回に増やす（他通知に同封して送付）。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	4,625,000	0	人事課予算				
ゴールの数値目標	目標値	-	1,450	1,500	1,550	1,600	1,650	
	実績値	1,415	1,358					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 2 - 16

小事業	青少年電話相談経費		課名	いじめ防止生徒指導課			(令和5年4月1日現在)	
説明文			数値目標					
<p>【事業のゴール】 いじめ問題や青少年が自ら抱える誰にも相談できない悩み、保護者からの健全育成に関する相談に応じ、相談者の気持ちに寄り添い耳を傾け、信頼を得られる電話相談を構築する。</p>			<p>【事業のゴールの数値目標】 1,000件</p> <p>【設定理由】 青少年やその保護者からの相談に年中無休で応える事業であり、ここ数年増加傾向にある相談件数を指標とし、令和3年度の実績をもとに設定する。</p>					
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 確実に事業委託費を確保することで365日の相談体制を維持し、相談者からの多様な相談に対応する。</p>			<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 960件</p> <p>【設定理由】 ここ数年相談件数が増加傾向にある。相談件数の推移をKPIとすることで、本事業の市民への定着度を図る一つとなりえると考ええる。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	900,000	900,000	900,000				
ゴールの数値目標	目標値（件）		960	970	980	990	1,000	
	実績値（件）	953	973					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 2 - 17

小事業	女性問題相談事業		課名	共生社会推進課			(令和5年4月1日現在)	
説明文			数値目標					
<p>【事業のゴール】 女性問題相談員が、家族・DV・結婚・子育て・性に関することや家庭の問題、そして生き方などの悩みについて相談に応じる。</p>			<p>【事業のゴールの数値目標】 相談件数：3,000件</p> <p>【設定理由】 令和3年度の実績値を元に設定する。</p>					
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 相談窓口の周知</p>			<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 ・しみんだより掲載回数：1回/年</p> <p>【設定理由】 相談件数を増加させるためには相談窓口があるという情報を市民に周知する必要がある。ホームページで周知は行っているが、より多くの市民に知っていただくため、定期的にしみんだよりにおいて周知を行い、利用者の増加につなげる。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	528,000	人事課予算 4,040,000	人事課予算				
ゴールの数値目標	目標値	-	2,800	2,800			3,000	
	実績値	2,532	2,814					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 2 - 18

小事業	女性のための無料法律相談事業		課名	共生社会推進課			(令和5年4月1日現在)	
説明文			数値目標					
<p>【事業のゴール】 女性を取り巻く深刻化・かつ複雑化する法律的諸問題について、女性問題に精通した女性弁護士が助言等を行い、問題解決の糸口を見つけ出すためのサポートを行う。 利用者（相談者）の増加を目標とする。</p>			<p>【事業のゴールの数値目標】 相談件数：60件</p> <p>【設定理由】 令和3年度の実績値を元に設定する。</p>					
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 相談窓口の周知</p>			<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 ・しみんだより掲載回数：1回/年</p> <p>【設定理由】 相談件数を増加させるためには相談窓口があるという情報を市民に周知する必要がある。ホームページで周知は行っているが、より多くの市民に知っていただくため、定期的にしみんだよりにおいて周知を行い、利用者の増加につなげる。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	528,000	528,000	528,000				
ゴールの数値目標	目標値	-	40	43			60	
	実績値	38	41					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 2 - 19

小事業	消費生活相談事業・消費生活啓発事業		課名	産業政策課				(令和5年4月1日現在)
説明文			数値目標					
<p>【事業のゴール】 生活様式の多様化、経済社会のメカニズムが複雑化するなかで、市民の消費生活についての苦情や相談を受け処理することにより、市民の健全な消費生活の保護を図り、自立した消費者となるよう効果的に助言を行っていく。</p>			<p>【事業のゴールの数値目標】 相談件数：2,016件</p> <p>【設定理由】 啓発で被害を防止しながら、相談窓口を周知し、必要としている人がセンターにつながるように、微減を目指す。令和3年度は比較的短い時間で解決する相談が減少し、相談内容が複雑化・長期化する傾向があったため件数の減少が見られたが、一時的なものである可能性があり、奈良市第5次総合計画の数値目標を基づき設定する。</p>					
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 相談窓口の周知、消費者被害防止のための啓発</p>			<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 啓発事業回数：3回/年</p> <p>【設定理由】 消費者被害防止のための啓発を積極的に行いつつ、相談窓口があるという情報を周知する必要がある。市民に認識してもらうためには、市民が必要とする時期や状況に合わせての周知が必要となるため、年に約2回行っている啓発事業の回数を年3回に増やし、可能な限り教育部門と連携を行う。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	16,179,000	16,278,000	16,350,000				
ゴールの数値目標	目標値	15,392,823	15,373,473					
	実績値	—	2,160	2,125	2,090	2,055	2,016	

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 3 - 1

小事業	民生委員・児童委員活動		課名	福祉政策課				(令和5年4月1日現在)
説明文			数値目標					
<p>【事業のゴール】 民生委員・児童委員は、子どもや子育て家庭によりそい、子育てや困りごとの相談にのり、地域や専門機関、専門家につながります。</p>			<p>【事業のゴールの数値目標】 指標（数値）を設定できない</p> <p>【設定理由】 民生委員・児童委員は地域の福祉に関するボランティアであるため、相談件数等の指標を設定することが難しいと思われます。</p>					
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 子育てや困り事の相談に応じるときに必要な知識の習得</p>			<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</p> <p>【設定理由】</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	62,376	62,376	63,526				
ゴールの数値目標	目標値	62,376	62,376					
	実績値							

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 3 - 2

小事業	家庭教育推進事業			課名	地域教育課			(令和5年4月1日現在)
説明文				数値目標				
<p>【事業のゴール】 少子化や核家族化が進む中、子どもたちが生きていく上での基礎的な習慣や能力を身に付けるために、子どもや家庭を取り巻く諸問題の解決とこれからの家庭教育のあり方等について考え、家庭教育の充実、家庭の教育力向上を図る。</p>				<p>【事業のゴールの数値目標】 「家庭教育支援事業」を実施している公民館数：17館</p>				
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 理解者・支援者の増加</p>				<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 参加者数：400人/年</p>				
				<p>【設定理由】 各地域における家庭教育に関する課題について、地域住民が話し合い、解決していく仕組みを定着させ、着実に機能するよう継続的に取り組む館を増やしていくため。</p>				
				<p>【設定理由】 地域における家庭教育の現状や課題について学ぶ機会を作ることで、理解を深め、地域で見守る人材や支援者を増やすことにつなげる。ただし、開催する講座のテーマや対象によって、定員の増減がある。</p>				
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	360,000	360,000	360,000				
ゴールの数値目標	目標値	12	13	14	15	16	17	
	実績値	12	13					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 3 - 3

小事業	保育所及び幼稚園等と小学校との連携の推進			課名	保育総務課			(令和5年4月1日現在)
説明文				数値目標				
<p>【事業のゴール】 保育園・幼稚園・こども園と小学校が連携し、発達と学びの連続性を踏まえた教育の推進を図り、子どもの豊かな学びを保障します。</p>				<p>【事業のゴールの数値目標】 なし</p>				
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 保育園・幼稚園・こども園と小学校双方による交流・連携の実施と内容の充実</p>				<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 園児・児童または職員間で交流・連携を行っている公立園の割合：100%</p>				
				<p>【設定理由】 校区等によって交流や研修等の連携の持ち方や回数等が異なり、統一的な数値目標を設定することが難しいため、第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画と同じ設定としている。</p>				
				<p>【設定理由】 全ての公立園で交流や連携を継続して行うことにより、子どもの豊かな学びに繋げる。</p>				
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	0	0	0				
ゴールの数値目標	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	-	-					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 3 - 5

小事業	子育て世代支援PR事業		課名	子ども政策課 (令和5年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
【事業のゴール】 子ども未来部公式SNS（Facebook・LINE@・Twitter・Instagram）合計フォロワー数の増加			【事業のゴールの数値目標】 年間13,000件 【設定理由】 PRという活動の成果を示す指標として、利用者が能動的に登録をしなければカウントされないLINE@やTwitter等のSNSフォロワー数が適当であり、認知度を測る指標としても適切であると思われるため。					
【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 子ども未来部公式SNSの認知度を高め、利用者が必要としている情報を発信する。			【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 子育て施設の利用者等にSNS啓発物品（シール）を令和5年度から令和6年度にかけて53,000部配布する。 【設定理由】 手に取りやすいシール等を用いて、直接的に子育て世帯に周知を行うため。					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	1,053,000	1,053,000	1,836,000				
ゴールの数値目標	目標値	6,500	8,000	9,500	11,000	12,000	13,000	
	実績値	5,677	6,779					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 4 - 4 - 1

小事業	フードバンク事業経費		課名	子ども育成課 (令和5年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
【事業のゴール】 食品配布者が、食品配布の量に対して大変満足している又は満足していると実感する。			【事業のゴールの数値目標】 食品配布者へのアンケートから、「食品配布の量に大変満足している又は満足している」と答えた割合が85%以上となる。 【設定理由】 令和2年度に実施した「ひとり親世帯への新型コロナウイルス感染症の影響についてのアンケート」より、回答者の約43%が現在必要としている支援として「食料品を無料で受け取られたり、配達してもらえること」と回答していることから、対象者に対して十分な支援が行えているかどうかを検証するため。					
【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 食品配布者が満足できる量の食品の寄附を募るために、企業や市民等に対する周知を増やし、食品寄附増につなげる。			【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 食品の寄附を年間25t以上受け付ける。 【設定理由】 フードパントリーとして、850世帯に対し1回あたり10kgの食品を3回提供するにあたり、10kgの食品を集めることで満足度を高める。					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	32,675,000	64,801,000	75,464,000				
ゴールの数値目標	目標値	—	75%	78%	80%	83%	85%	
	実績値	74%	85%					